

令和3年10月8日

3学年保護者の皆様へ

富谷市立成田中学校  
校長 小山 直樹

## 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、5月27日に実施されました「全国学力・学習状況調査」（3年生対象）について、お知らせいたします。

以下の結果を踏まえ、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

### 1 成田中学校の調査結果の概要

全体を通して、本校3年生の学力状況調査結果は、宮城県、全国と比較して、良好な結果となりました。各教科の概要は以下の通りです。

#### 【 国 語 】

4領域のうち3領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）で、宮城県および全国平均正答率を大きく上回りました。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、わずかに下回りました。

#### ◇県、全国平均正答率を大幅に上回った設問

- ・ 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える設問

この設問では、県や全国の平均正答率を大きく上回りました。話合いを通して、考えを深めていく際には、場の状況に応じた言葉遣いをしたり、聞き手に自分の考えが十分伝わっていないと感じられた時には、分かりやすい語句に言い換えたり内容を補足したりするなど、場の状況に応じて言葉を選ぶことが重要ですが、このような力が十分身についています。

これは、小グループによる学び合いの学習を継続的に行っていることにより、個々の生徒の話合いの際に話すべき論点や方向性を捉える力につながったと考えられます。

- ・ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く設問

この設問では、県や全国の平均正答率を大きく上回りました。意見文を書く際には、基本的な文章の構成や展開、段落相互の関係などに即して、どのように段落を設けるか、設けた段落をどのような順序で展開するなどについて考えることが重要ですが、段落相互の関係を捉える力が身についています。

これは、説明的な文章の学習の際に、段落相互の関係について、くり返し学習したことや、そこで学んだことを、意見文を書く学習に活用させてきたことが要因であると考えます。

◆県、全国平均正答率を下回った設問

- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解する設問

この設問では、県や全国の平均正答率より、やや低い正答率になっています。第3学年では、今まで身に付けてきた多様な語句を振り返りつつ、話や文章の中でどのように使用されているか、自分が理解したり表現したりするときどのように用いればよいかについて考えることが重要ですが、多様な語句についての理解が不十分でした。

漢字については、小テストを継続的に行い、定着度合いを確認してきましたが、語句の意味については、口頭での確認に止まっていたことが要因と考えられます。

- ・文脈に即して漢字を正しく読む設問

この設問では、県や全国の平均正答率より、やや低い正答率になっています。「詳細」という漢字の読みを問うた設問で、「しょうさい」のうち「さい」だけ正しく解答しているものが、県や全国と比べ多くありました。

漢字を指導する際に、音読みや訓読み、特別な読み方等、複数の読み方に触れ、さらに、くり返し指導していきたいと考えています。

【 数 学 】

すべての領域（数と式、図形、関数、資料の活用）において、宮城県、全国平均正答率を上回っていますが、一つ一つの設問の正答率をみると、宮城県、全国平均より下回ったものもあります。

◇県、全国平均正答率を大きく上回った設問

- ・数と式に関する設問

事象を数学的に考察する場面で、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する設問、さらに発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する設問について、いずれも県・全国よりも大きく上回る正答率になっています。これは、具体的な事象の中で数量関係を見だし、それを、文字を用いた式に表したり、変形したりしながら説明できることが要因であると考えられます。普段の授業において、自分で見つけた数量関係について、数学的に説明したり、友達の説明を聞いたりする学び合いの場面を多く設定したことで力を伸ばしたものと考えられます。

- ・図形に関する設問

図形の性質を考察する場面で、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する設問について、県・全国を大きく上回る正答率になっています。これは、与えられた四角形が平行四辺形になることを数学的な表現を用いて説明できることが要因であると考えられます。普段の授業から図形の性質を証明する場面では、定義や定理を基にして論理的に筋道を立てさせてから、証明を書く学習に繰り返し取り組みました。これにより、論理的に考察し表現する力が高まったと考えられます。

◆県、全国平均正答率を下回った設問

- ・関数に関する設問

関数を用いて事象を捉え考察する場面では、具体的な事象の中から伴って変わる2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、2つの数量関係についての的確に捉えことが大

切です。本問題は、表にまとめられた時間と長さの2つの数量の変化から関数関係を見だし、表現できるかどうかをみる設問でした。しかし、関数の意味についての理解に課題があり、正答率が低くなったと考えられます。今後は、関数関係にある身の回りの事象についても取り上げ、様々な数量関係について確認する場面を増やしていきたいと考えています。

・資料の活用に関する設問

日常生活や社会の事象を考察する場面では、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、それらを基に判断の理由を説明することが求められる場面があります。その際、グラフや代表値を用いてデータの傾向を捉え、説明することが大切です。しかし、度数分布多角形から傾向を捉え説明する問題の正答率が低くなっています。これは、与えられたデータから根拠となる傾向を的確に読み取れないことが課題であると考えられます。今後は、ヒストグラムや度数分布表だけでなく、様々な表やグラフを基にその傾向を読み取る機会を増やし、分析力の向上を図っていきたいと考えています。

【 生徒質問紙 】

回答選択肢4段階の「当てはまる(している)」をA、「どちらかと言えば当てはまる(どちらかと言えばしている)」をB、「どちらかと言えば当てはまらない(どちらかと言えばしていない)」をC、「当てはまらない(していない)」をDとする。

◇宮城県・全国と比較して特に良好であった項目について

(1) Aが宮城県及び全国平均値と比較して大きく上回った項目

- ①「朝食を毎日食べていますか。」(91.2%)
- ②「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」(42.3%)
- ③「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。」(17.5%)
- ④「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」(42.3%)
- ⑤「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」(62.8%)
- ⑥「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。」(29.2%)

①、②、⑥から、各家庭において、基本的な生活習慣が身につけている生徒が多いことがわかります。また、④から学び合いの学習が少しずつ根付いてきていると感じます。

(2) (1)の①～⑥を除いて、A+Bが宮城県及び全国平均値と比較して大きく上回った項目

- ①「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」(A+B→97.1%)
- ②「家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)。」  
※A…よくしている B…ときどきしている (A+B→75.9%)
- ③「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」※A…3時間以上 B…2時間以上、3時間より少ない (A+B→51.8%)

- ④「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」  
**※A…4時間以上 B…3時間以上、4時間より少ない** (A+B→46%)
- ⑤「1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」  
**※A…ほぼ毎日 B…週1回以上** (A+B→51.8%)
- ⑥「1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。」  
**※A…伝えていた B…どちらかといえば、伝えていた** (A+B→94.9%)
- ⑦「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」 (A+B→89.6%)
- ⑧「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」 (A+B→73%)
- ⑨「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。」 (A+B→84.7%)
- ⑩「英語の勉強は好きですか。」 (A+B→61.3%)

②, ③, ④から家庭での学習習慣が身につけている生徒が多いことがわかります。また, ⑥, ⑦から主体的に授業に臨んでいる生徒が多いこともうかがえます。

#### ◇宮城県及び全国と比較して特に課題となった項目について

##### (1) Aが宮城県及び全国平均値と比較して大きく下回った項目

- ①「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」 (28.5%)
- ②「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」 (9.5%)
- ③「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」 (19.7%)
- ④「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」 (27.0%)

②, ③については新型コロナウイルスの影響で各種行事が中止になったことが影響していると考えます。それに変わる発表の機会を意図的に設定していく必要があると感じます。

##### (2) A+Bが宮城県及び全国平均値と比較して大きく下回った項目

- ①「将来の夢や目標をもっていますか。」 (A+B→62.7%)
- ②「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」 (A+B→56.4%)
- ③「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。」 (A+B→42.4%)

①については、様々な角度から要因を探り、進路学習や志教育のさらなる充実に努めていきたいと思えます。②については、各教科の授業で意図的にくり返し設定していく必要があると感じます。